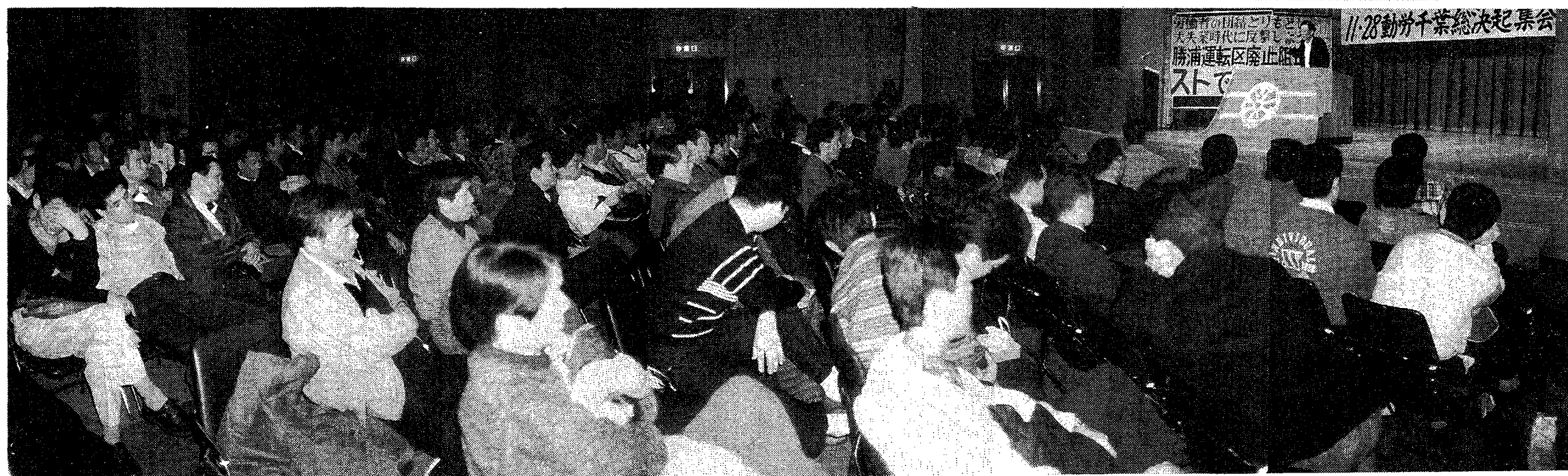


よみがえれ労働組合、とりもどそう団結！ 労働運動の新しい潮流をめざそう！

11/28~12/1 72時間ストライキ貫徹！

勝浦運転区廃止攻撃粉碎－12・1ダイ改阻止！

ストライキ闘争報告集



国鉄千葉動力車労働組合教宣部

(千葉市中央区要町2-8 動力車会館 TEL 043-222-7207)

勝浦運転区廃止攻撃粉碎 1128スト突入総決起集会

十一月二十八日正午をもって、断固として七十二時間ストライキに突入した動労千葉は、当日、夜、スト突入集会を千葉市民会館において、四八〇名の結集のもとにちかちかとした。会場に入り切れない労働者がロビーまで溢れるなか、布施副委員長が開会を宣言した。挨拶にたった中野委員長は、今ストライキの意義を鮮明に提起。動労千葉弁護団を代表して阿部、遠藤両弁護士が、また来賓の足立まちこ成田市議がそして動労千葉議員団の水野勝浦市議、中江船橋市議が連帯の挨拶。つづいて田中書記長が闘争戦術について提起した。

集会もいよいよクライマックス。勝浦支部の岩瀬孝一支部長と岩瀬義夫副支部長が万雷の拍手のもと登壇し、熱烈な決意表明をおこない、第一波スト被解雇者、第二波スト被解雇者、清算事業団被解雇者は、解雇者も今ストライキと固く連帯し、勝利まで頑張る決意が明らかにされた。最後に、ストの各拠点支部、貨物・いすみの各支部からの決意表明、組合歌合唱、団結カンパロー三唱をもって集会は締めくくられ、組合員はスト貫徹を、支援はスト連帯を固く誓いあった。

72時間ストの最先頭で勝浦支部は闘う

岩瀬孝一勝浦支部長



し、当局の勤労課を徹底的に追求してきました。

やつらは、その場かぎりの嘘八百を並べたて開き直っています。まるで羊の皮をかぶった狼のように、JR東日本・千葉支社は完全に凶暴化している。JR労務支配の特徴は、まさに勝浦運転区廃止攻撃や強制配転者の塩漬け・たらい回しなどの差別・選別攻撃にあらわれています。

今晚は、勝浦支部の岩瀬です。

勝浦運転区廃止攻撃に対して、勝浦支部は、ここに怒りをこめて決意を明らかにしたいと思っています。

この間の、団交の場で勝浦運転区廃止の提案がなされ、それに対して我々は勝浦運転区廃止反対―存続の立場を明確に

この間の不当労働行為、嫌がらせの元凶は、社長松田とJR総連革マル・松崎結託の体制にあります。断じて許せません。やつらを徹底的に糾弾するために、勝浦支部は実力闘争でストライキで闘います。最後までストライキを貫徹し、ともに頑張りましょう。



解雇者の決意表明

◆85年第一波スト被解雇者 綾部さん
今かけられている攻撃は、本当に許すことのできない攻撃です。私たちもこの十年間、JR当局やJR総連革マルへの怒りを忘れることなく、今日まで頑張ってきました。職場生産点、争議団、組合が一体となって敵に打撃を与えるたたかいをかちとつていこうではありませんか

◆86年第二波スト被解雇者 高柴さん
解雇になって十年がたちました。警察の妨害で職場を変ったこともありましたが、しかし、それほど動労千葉が注目されているということです。解雇され残念ながらストライキを共に闘うことはできませんが、けれど、解雇撤回闘争を最後まで動労千葉とともに頑張る決意です。

スト拠点からの決意表明

【椿千葉運転区支部長】

ちょうど十年前、成田運転区廃止問題が大きな焦点となっていました。その成田運転区廃止反対闘争から十年、結局、自分の職場が潰される、自分が帰る場所がなくなる、これほど悔しいことはないと思います。

また十年先にどこかの支部が廃止にな

る、このようなことがないように第二、第三の廃止支部をつくらないためにも、今回の七十二時間ストライキをしっかりと貫徹し、新たな力と団結を強めていこうではありませんか。ともに頑張りましょう。

【石幡幕張支部長】

本日、幕張支部は六十八名でストライキを闘っています。JR以降、幕張支部としては最大のストライキに入っており支部として記念碑的な闘いとなっています。明日は七十名のストライキになりますが、一糸乱れぬストライキを敢然とたたかいぬいていきたいと思っています。みなさん、ともに頑張りましょう。

【石川京葉支部長】

京葉支部は最初は小さな支部でしたが勝浦支部から十三名が合流し、大きな支部になります。これからは、千葉転支部に負けないくらい、大きな力を出せると思います。また、十二月一日をもって営業から京葉支部所属の五名がまたトコロテン式に回されますので関係支部の方よろしく願います。

【辻司津田沼支部長】

第一波ストから十年目をむかえた。分割・民営化に断固反対し闘い、そして私たちの代表が解雇されました。この解雇撤回闘争を最後まで闘い、そして動労千葉の解体攻撃を許さずに、ますます団結を守りぬき共にたたかおう。津田沼支部は、七十二時間ストの最先頭で全力でたたかう。

【土野野総武支部書記長】

勝浦運転区廃止攻撃は絶対に許すことができません。総武支部には勝浦支部出身者がたくさんいます。八年以上も営業に飛ばされ、自分が帰る運転職場がなくなってしまう。怒りをもって糾弾する。原職である運転職場に戻るといふ立場をますます堅持してともに闘いをすすめていきたい。

【錦織銚子支部長】

銚子支部は、解雇者一名、清算事業団二名、営業への強制配転者十名という状況をかかえながら、この勝浦運転区廃止攻撃粉碎の本日のストライキに、支部総力でたががっています。この勝浦運転区廃止という攻撃に対する怒りを、JRとJR総連に叩きつけてやるために、ともに団結して闘いぬいていこう。

【渡辺館山支部副支部長】

私は今、鴨川準備区の隣で勤務しています。悔しい思いをしながら毎日、働いています。準備区は、いま金網に囲まれて段々と出来ています。その中で勤務しなければならぬつらさも、私たちは共有しなければなりません。力一杯、館山支部も頑張りますので、今後ともよろしく願います。



【鈴木木更津支部長】

木更津支部は、勝浦運転区廃止攻撃に對して、ストライキに入りました。また同じ仲間のためにも列車を一本も動かさないという決意のもと、明日は、乗務員もストライキに決起します。

これからの、新たなたたかいのためにも、木更津支部は団結を強化して頑張りたいと思いますのでよろしく願います。

【田中いすみ支部長】

いすみ支部は、貨物と出向者で構成されておりますので、ストには参加しておりませんが、肩身の狭い思いをしております。何が悔しいかというといすみ支部は全員勝浦運転区の出身者です。身を切られる思い、腹ワタが煮え返る思いでいっぱいです。結果された皆さんに敬意を表するとともに、いすみ支部も全力で支援し、闘う決意です。

【柴崎新小山支部長】

私たち貨物は今回はストには入りませんが、JRとJR総連の結託体制のもとで勝浦運転区廃止攻撃がかけられているわけですが、本当に腹がたつてしかたがありません。貨物においても、日貨労の裏切りによってダイ改のたびに労働条件が悪くなっています。この元凶であるJR総連・日貨労解雇にむけてたたかう。

【宮内佐倉支部長】

動労千葉を潰すためにのみかけられた勝浦運転区廃止攻撃を絶対に許すことはできません。敵は、JR総連の拠点をつくろうと、鴨川運転区を新設してきましたが、しかしそれでも、勝浦支部の仲間を十八名鴨川に移さざるをえません。我々の攻勢的な闘いがこういう事態を生んでいると思います。貨物は再来年最大の焦点を迎えますが、頑張ります。

◆清算事業団被解雇者 高石執行委員
みんなバラバラになって民間会社などにいつて汗水たらして頑張っています。私たちは、これからもみなさんと一緒になって闘いぬき、JR体制を打倒し、そして皆さんの力を借りながら清算事業団闘争の勝利まで頑張りますので、今後よろしく願います。



【動労千葉議員団】

水野勝浦市議

中村御宿町議は議会があり、ここに参加できませんが、みなさんのおかげでこうして議員団を結成することができました。向こう三年、みなさんとともに、動労千葉議員団として闘いぬく決意であります。分割・民営化から十年、敵は、あらゆる攻撃をやり尽くして、最後に勝浦運転区廃止攻撃をかけてきた。これを迎え撃って断固として闘おうではありませんか。新しい十年目の闘いを我々が切り開いていくんだと、これからは我々の時代なんだという気概で頑張りましょう。



JR総連と一体となった 動労千葉つづしに反撃を！

中野委員長発言要旨

新しいたたかいの出発点

今から十年前の十一月二十八日、正午から国鉄分割・民営化に反対する第一波のストライキを我々は決行しました。

当時、赤字を出したのは、国鉄労働者が悪いんだという雰囲気があり、ストライキなどやるような状況ではなかったなかで、悲壮な決意でストライキに突入しました。

そのストライキに対して、二十八名の解雇者、そして清算事業団に十二名が送られるという状況のなかで労働者の誇りを失わず、胸をはって闘ってきました。苦節十年の闘いをおして、いま新しい闘いの出発点を形成しようとしていることをお互いに確認したいと思っています。

本日をもって突入したストライキは、ひとつは、勝浦運転区廃止に対する怒りの反撃です。ふたつには、分割・民営化以降十年ちかたたたかってきた強制配転者を元の職場にもどすことを要求してたちあがりました。みつづきは、外房線のような線路で百二十キロ運転を強制させようとしていることです。運転保安確立を労働組合としての綱領的スローガンとしてきた動労千葉としてこれを絶対認めることはできません。そして勝浦運転区廃止も強制配転も、JRとJR総連革マルが結託して、動労千葉さらに国労を解体しようとする不当労働行為です。これを絶対許すことはできません。

動労千葉破壊をうちやぶるストライキ

勝浦運転区廃止の攻撃は、一年前から始まっています。この攻撃は明らかに動労千葉を破壊する攻撃であり、ストライキを一発やって決着する問題ではない。もつとおおがかりなあらゆるたたかいを展開して、その集約点としてストライキを決行することが求められていました。

去年の大会で、水野動労総連合委員長を勝浦市議選に立候補することを決定し、勝浦支部を先頭に全力でたたかいました。そして上位当選をかちとり

ました。それを期して、勝浦市の有権者一万九千名を対象として一万三千名の勝浦運転区存続署名をかちとり、その実績のうえに当局側と対応してきました。

しかし当局は、勝浦運転区廃止、鴨川運転区新設をきめておきながら、我々の再三、再四の要求に対して、「考えておりません」「そんなことは決まっております」と言ってきたのです。それは当局にとつてうしろめたい意図があったからです。その意図は、勝浦運転区を廃止して、我々の組織に動揺を起こさせ、合わせて当局とJR総連革マルが結託して、房総半島にJR総連の拠点（鴨川運転区）をつくることをねらっていたのです。JR総連の千葉地本の連中は「鴨川運転区はJR総連が仕切るんだ」と、そのことを隠しておりません。われわれはそれに対抗して、九月に勝浦運転区廃止自体が不当労働行為であると、千葉地方労働委員会に申し立てをやりました。

我々はこの一年間、全組合員の力をふりしぼってたたかってきました。しかしここまでできたら、労働者として、労働組合としてけじめをつけなければならぬ。その方法は、ストライキです。これは全組織的な問題だから中途半端な闘争をやるつもりはありません。それで七十二時間ストを決意し、決定したわけでありま。

七十二時間ストを決定したとたん、状況は一変しました。当局はオロオロして一千本運休するといっています。商業新聞でも分割・民営化始まって以来の大規模なストライキだといっています。敵は、そう感じているんです。この闘いはJR総連と一体となった動労千葉つづしに反撃して、団結をうちかためるたたかいです。

正念場をむかえた国鉄闘争への先制的たたかい

第二は、来年前半期だと思つていますが、国鉄分割・民営化問題が、最大の政治焦点をむかえるということです。一〇四七名の解雇問題、長期債務問題など一斉に焦点にのぼらざるをえないでしょう。

まず分割・民営化が破綻しているという事です。赤字問題とともに、貨物、北海道、九州、四国が全部赤字です。十一月十六日の日本経済新聞では、このままいったらローカル線は全部切り捨てるか、国が全部面倒を見なければならぬといっています。赤字の二十六兆九千億円をどうするかも問題になります。

分割・民営化の破綻の中で、敵は危機においこまれていきます。そして国労の二〇二億円問題（政府が二〇二億円訴訟を取り下げた）以降、流れはかわっています。まちがいになく運輸省とJRの間に亀裂が生まれています。

来年何がおこるかかわらない。JR総連も今のままではいけないのか。わかりません。

このように正念場をむかえた国鉄闘争にたいする先制的たたかいです。

第三は、大失業時代にたいして動労千葉としてストライキをもって反撃し、全国のたたかう労働者に決起をよびかけようと思います。

大失業時代と一緒にたたかうことをよびかける

動労千葉がよびかけた大失業時代を撃つ十一・五全国労働者総決起集会は、三千名を集結して成功しました。そのよびかけ組合である動労千葉が、このストライキで全国と一緒にたたかうとシグナルを送っているんだということです。

今大失業時代の中で世の中の意識がかわってきています。孤立感はありません。それは労働者の怒りとかみ合っているからです。

今JR総連は、国労解体闘争を最大の課題にしています。そしてもうひとつワークシェアリングをうちだしています。かれらはギリギリまで追いつめられています。わたしたちはストライキをかまえ、JRとJR総連の結託体制にダメージを与え、来年決着をつけなければなりません。九六年をこの十年間の苦しいたたかいの成果がでるような年にしたいと思ひます。ストライキに糸乱れずに突入することを最後に訴えてあいさつにかえます。

11・29 鴨川支部結成を宣言！

結 成 宣 言

われわれ鴨川支部は、72時間ストライキの真つ只中で深紅の動輪旗を掲げた。われわれ鴨川支部の結成は、JRとJR総連による勝浦運転区廃止という組織破壊・団結破壊攻撃を打ち破り勝利のうちに勝ちとられたのである。

この勝利に怯えているのはJRであり、JR総連だ。まさに、敵の悲鳴が鴨川運転区に渦巻いている。われわれは、この新たな闘いの拠点に堂々と胸をはって乗り込み、与えられた闘いの使命の貫徹へ向け闘いぬくものである。

第一に、JR-JR総連によってつくられた鴨川運転区で、多数派を目指し、JR総連解体・組織拡大へたたかいぬくものである。

第二に、八五分割・民営化反対第一波スト以来一〇年に及ぶ動労千葉の闘いは、「JR体制」をして揺らぎはじめるまでに追い込んだ。解雇撤回・清算事業団闘争勝利、強制配転者の原職復帰、差別のない職場の実現へ向けて闘いぬくものである。

第三に、安全をかえりみない無謀な一二〇キロ運転に見られるような「新たな一〇万人合理化」攻撃に対し、六〇才まで働くことのできる労働条件の確立へ闘いぬくものである。

第四に、「大失業と戦争の時代」の到来は、賃金や雇用形態を破壊し、労働者を無権利状態に落としこもうとしている。「全国にはばたこう」方針のもと、労働運動のあらたな潮流をつくりだすために奮闘するものである。われわれ鴨川支部の闘いは、今日この場から始まる。勝浦運転区から配転された仲間たちの悔しさを胸に刻み込み、鴨川運転区を動労千葉の拠点とするために、動労千葉鴨川支部の結成を高らかに宣言するものである。

右、宣言する

一九九五年十一月二十九日

国鉄千葉動力車労働組合 鴨川支部結成大会

【勝浦支部解散大会】

72時間ストライキの真つ只中、午前十時より勝浦市民会館において、勝浦支部解散大会が、支部全組合員七十名といすみ支部、他支部からの応援もかけつけ、百十名の結集でおこなわれた。

不当にも今回、千葉運転区へ配転となる岩瀬孝一支部長は、「この不当な攻撃に対して、我々、動労千葉は絶対に許さない。ストライキを最後まで貫徹し、さらに労働者としての団結を深め、共に闘っていこう」と激しく檄を飛ばした。

【鴨川支部結成大会】

引きつづき同会場において、鴨川支部結成大会が意気高くかちとられた。

選出された照岡清一支部長は、「この攻撃に負けることなく鴨川支部三十三名は、一致団結して闘いぬく」

と決意表明。

水野特別執行委員（勝浦市議）は、「鴨川では、JR当局、JR総連とのしごきを削る状況になると思うが、動労千葉の組合員として頑張ってもらいたい。また鴨川以外では、千葉運転区、習志野運転区、千葉運転区、幕張電車区、いすみ鉄道と散りじりになるが、労働者としての誇りをもって共に闘おう」と提起した。つづいて、支部執行委員から鴨川支部結成宣言が高らかに読み上げられ、満場の拍手で確認された。最後に、中野委員長の前で、天をも突くような「団結力ンバロー」をもって、新たな職場での新たな決意を全員でうち固めた。

また、この日、解散した勝浦支部と勝浦支部出身者の団結を深めるために、動労千葉勝浦・御宿町班が結成された。



鴨川支部結成大会（11/29）

「鴨川＝JR総連の拠点」の敵の思惑を粉砕し、動労千葉33名の支部が結成された。



結成大会終了後、勝浦市民会館の前で。
新たな職場で、新たな決意を固めた。

スト拠点で支部大会・集会を開催



ストの真つ只中の三十日、京葉支部は、千葉市弁天会館において津田沼支部の仲間も結集し、第八回定期大会を開催した。

挨拶にたった石川支部長は、「七十二時間ストは、分割・民営化十年目の攻撃とのたたかいの始まりだ。勝浦から迎える十三名の仲間と力を合わせ、京葉線をぶっとめる強固な拠点支部をつくりあげよう」と訴えた。参加した勝浦支部の仲間は、「昨日、鴨川支部結成大会をかちとった。今後も地労委闘争、勝浦市議会での取り組みも含めて、運転区復活の闘いに決起したい」と力強く発言。

さらに、JR千葉支社の「聖域」とされてきた京葉運輸区において、この闘争期間中に一名の組織拡大をかちとったことが報告され選出された安西新支部長は新たな闘いに起つ宣言を発した。

京葉線をぶっとめる強固な拠点支部をつくらう

京葉支部

幕張支部は、JR当局とJR総連革マルによる勝浦運転区廃止Ⅱ動労千葉破壊攻撃に、みんなで心から怒り二十八日、二十九日のストライキを完璧にうちぬいた。

二十八日の総決起集会での岩瀬勝浦支部長の「絶対に彼らを許さない」という怒りを、各自がたたかいの中で強固にうち固めたのである。

二十九日は、早朝から千葉市文化センターに総結集し、成田支部の仲間をまじえて情勢の把握、課題と闘いについて学習、討論をした。集会はなごやかな中にも、激動の時代を生きぬき勝利をかちとるために、団結をしっかりと固めてたたかいぬくことを確認し、団結ガンバローでしめくくった。



幕張支部

一一九名心をひとつにスト貫徹



先陣を切って七十二時間ストに突入

千葉運転区支部

千葉運転区支部は、十一月二十八日、十一時五十三分、一一二行路より全支部の先陣を切って、この日、泊り行路二十名、事務二名が七十二時間ストライキに突入した。翌日は、支部全組合員がストに決起し、乗務員分科会定期総会を開催。

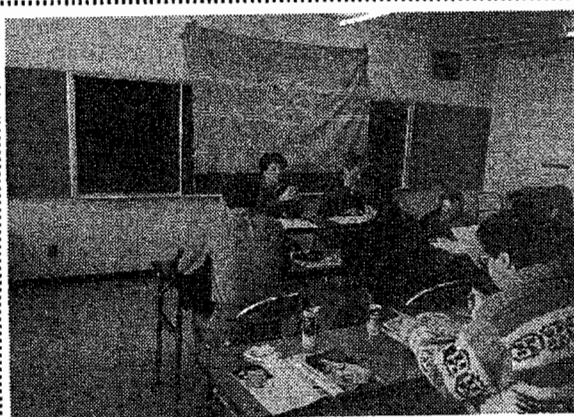
三十日、支部全組合員、来賓百二十名の結集のもと千葉市内で、第十九回定期大会を開催。椿支部長は、「わが千葉転支部は、二十八日より、各支部の先頭でストに突入した。わが動労千葉の最大拠点のわが支部のたたかいは、全体のたたかいに影響する。自分も、成田運転区が廃止され、千葉転に配転されたが、帰るところがなくなった。勝浦運転区から配転された八名の新しい仲間を加え、団結を深めてさらに頑張ろう。」と発言。

勝浦から新たな仲間を迎えて

津田沼支部

前日の泊り勤務からストに突入した津田沼、京葉の両支部は、二十九日、船橋市においてスト総決起集会を開催。

分割・民営化以降、集中的な支部破壊攻撃とたたかってきた庄司津田沼支部長は、「津田沼支部は大量の解雇者、配転者を出しながら頑張ってきた。敵は今度は勝浦に攻めてきた。本当に悔しいことだが、負けるわけにはいかない。新たに勝浦から二名の仲間を迎える。最後まで貫徹しよう。」と檄を飛ばした。これを受けて



参加者は、「七十二時間ストは体力勝負だ。たいへんなたたかいになるが頑張る」と発言。

両支部は、団結をうち固め、十二月一日、正午までのストを意気揚々と貫徹した。

……運輸、営業と次々とスト突入……

銚子支部

銚子拠点の、のべ五〇名が七十二時間ストライキを断固として貫徹した。ストは、二十八日十三時十一分の泊仕事、十五時からの営業、指導等地上勤と整然と突入。

二十九日、十時、スト突入集会を開始。鈴木書記長からは、今次七十二時間ストの要求と獲得課題が提起され、錦織支部長からは、JR-JR総連による勝浦運転区廃止という攻撃が不正義ゆえに線見護衛などをつけるなど、動労千葉のたたかいが「JR体制」を追いつめていることなどが明らかにされた。こうして、一糸乱れぬ七十二時間ストに突入した。



間ストライキを、十日、十三時三十分まで断固としてうちぬいた。

……連日の職場集会で団結固める……

館山支部



二十八日、館山支部は、勝浦運転区廃止攻撃粉砕、十二月ダイ改阻止を掲げて七十二時間ストに突入した。

二十九日、スト突入集会を午前十時より開催。笹生支部長は、「この不当労働行為に対して一致団結してたたかいぬこう」とあいさつ。続いて本部派遣の赤羽、山田両執行委員から現状報告、団交の経過等が報告され、最後に福島青年部長の音頭で「団結ガンバリ」を三唱した。

翌三十日、中間報告集会を開催。支部長は、「七十二時間ストライキを最後まで貫徹しよう」と提起。討論のあと、職場での問題を話し合った。

……「これから攻めに転じる時」……

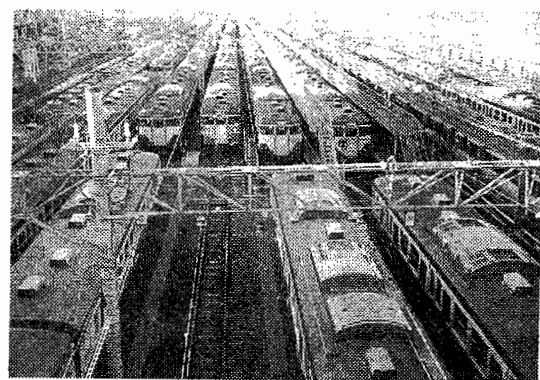
木更津支部

二十九日、木更津支部は、始発より最終列車までのストに決起した。久留里線のハンドルを握っているのは全員動労千葉だ。全列車をストップさせたストの熱気の中、総決起した仲間が集合。君津市教育会館において、スト突入集会を開いた。

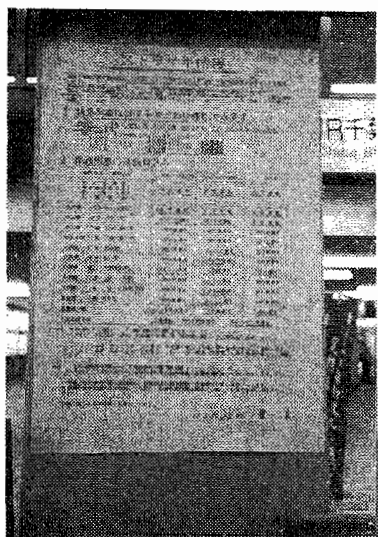
鈴木支部長は「勝浦運転区廃止は、動労千葉への組織破壊攻撃だ。我々は水野選挙に勝利し、大署名運動を展開し、一万四千の署名を当局に突きつけ動労千葉の底力を示した。『全国にはばたこう』方針のもと、我々は職場を



守りきった。これから攻めに転ずるときだ」と檄が飛ばされた。



(上) 分割・民営化以来最大のストライキに突入した(幕張電車区)



↑11月30日千葉駅。ホームに貼りだされた「ストライキ情報」



↑勝浦支部解散大会(11/29)写真中央はこの後開催される鴨川支部結成大会で選出された照岡鴨川支部長
←スト突入総決起集会(11/28)開会の挨拶をする布施副委員長

激電・檄布・カンパ・差し入れ どうもありがとうございました！

- ・千葉県労働金庫
 - ・三浦半島教職員組合有志
 - ・東交有志
 - ・足立満智子成田市議
 - ・布施貴良千葉市議
 - ・堀江はつ千葉県議
 - ・国労静岡支部有志
 - ・国労小倉地区闘争団日豊オルグ班
 - ・都留文科大学生協労働組合
 - ・日本板硝子共闘労働組合千葉支部
 - ・全労協金属一般不二工機労働組合
 - ・南部バス労働組合
 - ・全通三八支部集配分会
 - ・全通大宮郵便 分会有志一同
 - ・関西国労共闘
 - ・全通加古川分会
 - ・広島連帯ユニオン全造船機械三菱広機分会
 - ・東大分院職員組合
 - ・自立労組京都（執行委員長藤森和子）
 - ・連帯長船労働組合
 - ・動労西日本北陸支部・出口威
 - ・動労西日本
 - ・関西合同労働組合兵庫支部
 - ・高槻TSD医療労働組合
 - ・八尾北医療センター有志
 - ・国鉄高崎動力者連帯労働組合
 - ・東京西多摩地区教組小松川二分会
 - ・福井記念病院労働組合
 - ・高陽第一診療所労働組合
 - ・広島大学生協労働組合
 - ・東京一般エムシー形鋼センター分会
 - ・ス労自主大阪支部連合会
 - ・新空港反対東灘区住民の会 山本善偉
 - ・国賀祥司泉佐野市議
 - ・部落解放同盟全国連合会長野県連（準）
 - ・全国沖縄青年委員会 新城峯子
 - ・婦人民主クラブ全国協議会
 - ・婦人民主クラブ全国協議会広島支部
 - ・都政を革新する会
 - ・部落解放 同盟全国連合会茨城県連
 - ・青年アジア研究会
 - ・北富士忍草母の会
 - ・東北大学学生自治会
 - ・東京西部学生有志
 - ・全国の闘う学生
 - ・東京労組交流センター
 - ・関西労組交流センター
 - ・静岡労組交流センター
 - 他12団体
- （順不動・敬称略）

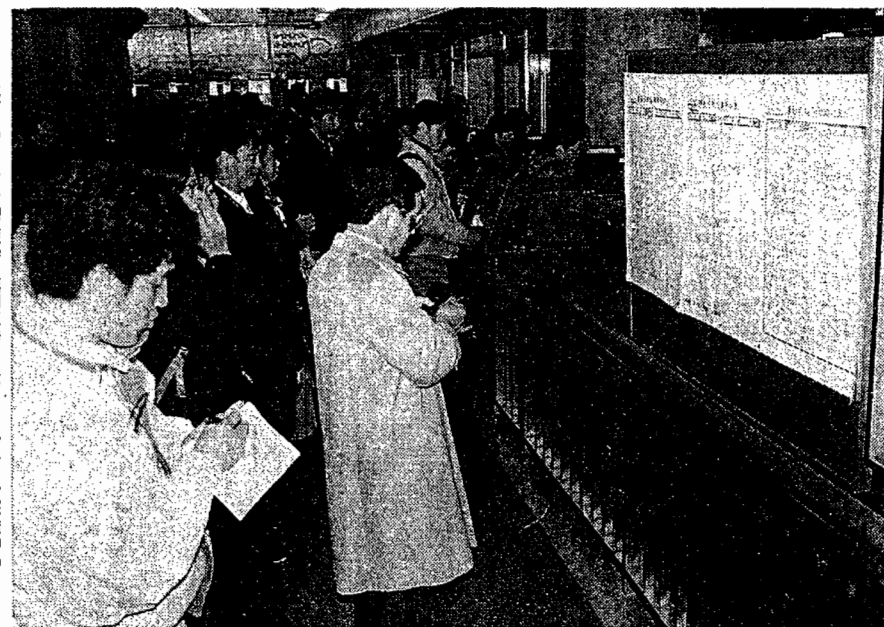
千葉動労

72時間スト突入

勝浦運転区廃止などに反対

11/29「千葉日報」

張り出された「運転可能時刻表」に見入る帰宅途中の会社員ら（JR千葉駅（28日午後5時30分ごろ））



7線区で120本が運休

4万6700人に影響

国鉄千葉動力車労働組合（中野洋委員長、組合員約七百人）は二十八日、来月一日のダイヤ改正による勝浦運転区の廃止などに反対し、同日午後から七十二時間のストライキに突入した。JR東日本千葉支社のまとめでは、千葉以東の内房線や東金線を中心に七線区で上下線百十本が運休、利用客約四万六千七百人に影響が出た。千葉動労はきょう二十九日もスト続行の構えを崩していない。ストがそのまま続いた場合、内、外房線では通常ダイヤの三五・四〇％しか電車の運転ができなくなるため、各駅での混雑や地域によっては高校の休校も予想される。

延べ46万3000人に影響 スト終結

動労千葉（中野洋委員長、支社のまとめによると、延べ四百七百人）が二十八日正午から始めた七十二時間ストは、一日正午すぎに終わりを、ダイヤはこの日午後から平常に戻った。JR千葉支社のまとめによると、延べ四百七百人がストで、上下九百九十六本が運休し、乗客約四十六万三千人の足が乱れた。一九八七年の国鉄分割民営化以来、JR東日本の管内では最大の影響が出たストだったといふ。

12/2「朝日」千葉版

同支社によると、一日は内房、外房線を中心に七十二本が運休して三万三千人に影響した。外房線では午前八時ごろ、千葉行きの普通電車が混雑し、土気駅で約百人、菅田駅で約五十人、鎌取駅で約百人の計二百五十人ほどが乗り切れない状況になった。同支社の田中康宏書記長は「乗客に迷惑をかけたことは申し訳ないが、勝浦運転区問題だけでなく、JRの労務政策を問うために立ち上がった。雇用破壊が進む世の中で、ストが起らない方